

会 議 録

会議名	平成27年度第2回市史編さん委員会	
事務局	教育委員会生涯学習課	
開催日時	平成27年10月19日（月）午前10時～11時10分	
開催場所	市役所第二庁舎801会議室	
出席者	委員	
	出席	出席（根岸委員長・中嶋委員・林委員） 欠席（小野副委員長・井上委員・牛米委員・山本委員）
	事務局	石原課長・高木主事・伊藤主事
傍聴の可否	◎可・不可・一部可	
	傍聴者：なし	
不可の理由		
<h3 style="margin: 0;">会 議 次 第</h3>		
<p>報 告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 部会の活動について 2 その他の事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 『市史編纂資料第55編 下小金井村鴨下家文書』の編集について (2) 古文書調査委託について 		
<p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 『資料編 現代』の発行について 2 今後の市史編さん事業予定について <ol style="list-style-type: none"> (1) 考古部会の立ち上げ (2) 『資料編 近世』の刊行 (3) 通史編刊行 		
<p style="text-align: center;">第3回委員会の会議日程 平成28年2月22日（月）</p>		
<p>【配布資料】</p> <p>資料1 『小金井市史 資料編 現代』目次構成（案）</p> <p>資料2 『小金井市史 資料編 現代』発刊スケジュール（案）</p> <p>資料3 『小金井市史編さん年次計画』</p> <p>資料4 付表（案）</p> <p>資料5 近世編構成（案）</p>		

会 議 内 容

報告1 部会の活動について

(事務局) 近代部会では、通史編に向け、毎月1回部会を開催し、調査員が各自の担当分野で調査、研究したテーマについて発表している。

(委員長) 近世部会は、各自資料調査を行うとともに、毎月1回部会を開催し、資料調査を継続している。『資料編 近世』(構成案)は別添5のとおり。

報告2 その他の事業について

(事務局)

①『市史編纂資料第55編 下小金井村鴨下家文書』の発行について

今年度中の発行に向け、校正がほぼ終了した。

②古文書調査委託について

引き続き、梶野家文書の筆写委託を予定している。

(委員長) 鴨下家文書は、近世の古い文書を含み重要だが、虫損が多く、翻刻が難しかった。今後、裏打ち等修復すれば、解読できる文書もある。

議題1 小金井市史『資料編 現代』の発行について

(中嶋委員) 発刊までのスケジュールは、資料2のとおり。現在、史料の翻刻がほぼ終わり、掲載資料の取捨選択、増減調整を行っている。目次・構成については、資料1のとおり5章立てで、第1章は、戦時下の小金井町、第2章は、戦後復興期の町政と市制施行まで、第3章は1960年代の市制施行後の高度成長時代、第4章は、1970年代の革新市制の時代、第5章は、主に1990年代まででとした。2000年代以降は、扱わず、第4節を未来に向かってとし、現在に繋がる資料を入れた。各章の節は、1節が政治・2節が市民生活・3節が文化に分けた。

(事務局) 付表1は、国勢調査による人口・世帯数の変遷表、付表2は、首長名、付表3は、地目別土地面積の推移、付表4は小金井市の財政(決算数値)の推移、付表5は、党派別の市議会議員数で、女性議員の数値も入れた。付表2・3・4・5は、『こがねいの統計』や市報記事で作成した。

(委員長) 付表(統計)は、『資料編 現代』にとっては、様々なことがわかり重要、充実させるべき。首長名だけでなく、助役・収入役・議員名簿も町政時代から入れた方がよい。

(林委員) 改選ごとの当選議員名簿が選挙管理委員会にあるので、当局に作ってもらってもよい。

(中嶋委員) 付表の追加については、部会で検討したい。

議題2 今後の市史編さん事業の予定について

(事務局) 今後のスケジュールは、資料3のとおり。考古部会は、今年度中に立ち

上げる予定である。

(委員長)『資料編 近世』については、来年度の発行にむけ、通史編の執筆を視野に入れながら調査、編集作業を進めている。『通史編』については、30年度発行に向けて今年度中に通史編の編集方針、構成、ページ数、執筆分担を決めたい。

(林委員)通史編発刊までの細かなタイムスケジュールの作成が必要、事務局に作成をお願いする。

(委員長)今回の市史編さんが比較的短期間に編集が進んだのは、これまで、市史編さん委員会が継続してきたことと、『市史編纂資料』を発行し続けてきた地道な積み重ねがあったからである。今回の市史編さん事業は、平成30年度までの計画だが、次の小金井市史編さんに繋げていくためにも、残された課題の調査研究と『市史編纂資料』の発行は継続すべき。

(委員長)市史編さんの進捗状況や成果などを市報のコラムやホームページで紹介するなど、市民へ周知し、理解を得ることが必要。

市民協力員の調査・研究は、市史編さんに役立っている。また、市民団体の研究成果も、『編纂資料集』に載せてほしい。

(事務局)平成22年度から市民協力員に、独自の調査をお願いしている。毎月、活動報告を受けており、通史編に活用願いたい。市民協力員の活動は、本年度までとなっているが、来年度も継続したいと考えている。

第3回委員会の会議日程

平成28年2月22日(月)